

# 砥山農業クラブ 砥山農業小学校通信

## 総勢41名 12年目の農小がスタート

### 5月18日(日)の授業

時間割	教科と内容	会場
1	入学式	八剣山果樹園
2	山菜とり	//
3	ジャガイモの植付け	//
4	トウモロコシの植付け	//

平成15年に始まった農業小学校は、12年目を迎え、親子14組、総勢41人で今年の授業が始まりました。昨年度は21名とちょっと



寂しかったのですが、本年度は倍増、再びにぎやかになりました。名古屋から移ってきて「北海道の素晴らしい自然に触れたかった」という親子や、昨年に引き続き入学した家族も4組。この中には、数年入校していて、すっかり農小の一員となっている小坂さんの4人家族もおられます。

この日は、時おり小雨まじりのあいにくの空模様となりましたが、桜井先生の「農業やこの地域の自然に触れて多くのことを学んでください」の祝辞、先生とスタッフの紹介、参加者も全員が前に出て元気いっぱい自己紹介をしました。

第1時限目は学校のある八剣山果樹園の周辺を散策しながら、山菜の観察と収穫。ヨモギ、コンフリー、ウド、タラの芽、フキ、コ



ゴミなどたくさん採れました。食べられるニンソウの近くには「猛毒のトリカブトも生えているので要注意です」と出かける前に勉強して、実際にそのようになっている現場も確認しました。2グループに別れて採取しましたが、大量の収穫です。西本先生やスタッフが一生懸命揚げてくれた天ぷらを「おいしい、おいしい」と言いながらいただきました。

午後は、ジャガイモ(男爵とキタアカリの2種)とトウキビ(ゴールドラッシュという甘い品種)の植付けです。桜井先生が植え付けまでの準備を説明、実際に子どもたちが種イモを植え付けられ



る形に切って準備完了、畑に向かいました。畑では桜井先生とスタッフによって土を台形に盛り上げる機械を使って畝床(うねどこ)を作り、そこに黒いビニールシート(マルチ)が被せられました。皆で植え込む穴を2列の等間隔に開けジャガイモを配置しました。種イモは7、8センチの深さに埋めて土を被せます。

次はトウキビの種まきです。トウキビの種は黄色いのですが、消毒処理済みの証にピンク色をしています。地面に十字になるように線を引き、その交わる

ところに2粒埋め込んでいきます。別のところ

で、苗を作って畑に移植するやり方もありますが、今回は畑に直接まく「直まき」です。約1時間あまりかけて「やったぞー」と満足そうにこの日の作業を終えました。畑の仕事には正しい知識と知恵が必要だと改めて感じた一日でした。



1日目の感想を、初めて参加した南区桜山小学校4年の八百川温君は「山菜採りで急な坂があり大変だったが、いろいろな山菜があることが分かり楽しかった。天ぷらもおいしかった」と目を輝かせていました。

入校生には温君と同じ桜山小学校に勤務しておられる平久保景子先生もご夫妻で参加されておられます。「南区には豊かな農業や自然がありますので、実際に体験し感じたことを、学校の子どもたちにも伝えたい」と子供たちに混じって楽しそうでした。

次回は6月22日、リンゴの摘果(すぐり=実が大きくなるように実の数を少なくすること)などの授業が行われます。

発行：砥山農業小学校(代表 桜井 学)

住所：〒061-2275 札幌市南区砥山126番地 八剣山果樹園内

電話・FAX：011-596-2280

e-mail: info-h@hakkenzan.jp http://www.hakkenzan.com/nosyo/

# 5月18日(日)のスナッフ

